

令和3年度 第1回市民と市長の座談会

会 議 報 告

事務局 企画財政部広報秘書課広聴係

開催日時	令和3年7月7日(水)午後7時00分～9時00分
開催場所	前原町西之台会館
参加者	男性 4名 女性 1名 計5名
会議次第	1 開 会 2 市長あいさつ (市政報告) 3 懇 談 新型コロナウイルス感染症について 4 閉 会
主な意見	<ul style="list-style-type: none">・ コロナ禍でのオリンピック開催について・ 保健所の増設について・ 市民と市長の座談会の開催場所について・ 市民と市長の座談会のオンライン開催について・ 公民館のオンライン開催について・ G I G Aスクールについて・ 災害時のトイレ問題について・ シティプロモーションについて・ 野川のシダレザクラについて・ 生ごみ処理機を活用したキャンペーンについて・ 公園の柚子について・ 街路樹について・ コロナワクチンの接種について・ 保育園の設置について・ ごみの処理の仕方について
懇談内容	別紙のとおり
そ の 他	手話通訳者 2名 保育士 1名

令和3年度第1回市民と市長の座談会

令和3年7月7日

1 開 会

○司会者

それでは、皆さん、こんばんは。本日は御参加いただきまして、誠にありがとうございます。私は、本日の司会進行を務めさせていただきます、広報秘書課長の廣田と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

本日、新型コロナウイルス感染症の防止対策としまして、着座してマスク着用のままで進行させていただきます。よろしくお願いいたします。着座で失礼します。

初めに、配付物の確認をさせていただきたいと思えます。まず次第がございます。アンケートがございます。続いて、令和3年度の施政方針の冊子になっているものがございます。続いて、令和3年度小金井市予算の概要という形になります。こちらは15ページから30ページの抜粋したものというふうになっております。主な事業を紹介しております。続いて、令和3年6月29日付の市長メッセージです。変異株拡大への警戒とワクチン接種事業のさらなる推進について、こちらのメッセージになります。次に、小金井市における新型コロナワクチンの接種状況という形の横版のものになります。次が、こちら横版で、市報「こがねい」7月1日号の1面の一部を抜粋したものをお載せしています。こちら、ワクチン接種のスケジュール等の記事となっております。続いて、小金井市医師会のメッセージ、新型コロナワクチンについてのその1からその8ということで、その8については6月29日付で配信させていただいているというものになります。こちら、その1からなっています。最後は、小金井市の緊急対応方針第6弾という形に、こちらの水色のものとなっております。あと、こちらがあらかじめ皆様の机上に配付したものとなっております。そのほか、受付のほうでは、小金井市はこんなところですよという、こういったリーフレットであるとか、あと、坂と遊歩道のマップ、こちらもお配りしておりますので、もしよろしければお持ちください。こちら、以上が資料となります。

それでは、開催に当たりまして事務局より御説明申し上げます。本日の進め方でございますが、初めに市政報告ということで、重要課題の進捗状況につきまして、市長の西岡よ

り御報告させていただきます。その後、意見交換ということなんですけれども、今回は、現在、最も皆さんが関心のある新型コロナウイルス感染症についてをテーマに、皆様から御発言をいただきまして、それに対して市長がお答えするという形で進めさせていただければと思っております。その後、もし、お時間がございましたら、そのほかのことに関しても自由に御意見をいただくという形の内容で進めさせていただければと思っています。

あと、本題に入る前に事務局より5点ほど御了承いただきたいことがございます。まず、1点目なんですけれども、議事録を作成させていただくため録音をさせていただきます。2点目が、今回の様子を写真撮影させていただきまして、ホームページに掲載させていただきたいと思います。もし、撮影に御都合が悪いという方がいらっしゃいましたら、事務局のほうに一声おかけください。あと、発言される際は、すみません、マスクを着用でよろしく申し上げます。そのときにマイクをお渡しするんですけれども、都度消毒をいたしますので、通常よりお時間がかかってしまうかもしれませんが、御了承いただきたいと思います。本日は、終了時刻が午後8時までとなってございますので、終了後につきましては、速やかに御退場いただきますよう御協力をお願いいたします。

それでは、次第に従いまして、まず初めに市長の西岡より御挨拶と市政報告をお願いしたいと思います。

2 市長あいさつ（市政報告）

○西岡市長

皆様こんばんは。小金井市長の西岡真一郎でございます。着座にて失礼いたします。どうぞ御理解のほどよろしくようお願いいたします。新型コロナウイルス感染防止対策といたしまして、マスクを着用したままでこの会、説明させていただきますので、何とぞ御理解いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。本日は、平日の夕刻というお時間にもかわりませず、令和3年度第1回市民と市長の座談会にお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。この座談会は、私、市長に就任してから毎年開催をさせていただくようにしております。市民の方との対話の場を設けさせていただくために、平成28年度から開催しているものでございます。毎年、年に4回開催しております。本日は、令和3年度では初めての開催となります。通常は皆様と気軽にお話をしたり、気軽にお越しいた

だけのように、事前申込みという形はとってはおりませんでした。また、座席につきましても、皆様方がお話をしやすいように、線形上に小さく椅子を並べていたところですが、新型コロナウイルス感染防止の観点から、申込み制という形にさせていただきました。また、参加人数につきましても、感染拡大防止に努めなければいけませんので、人数も制限をして開催をさせていただいております。どうか御理解を賜りますよう、お願い申し上げます。この座談会につきましては、市民の皆様から様々なことについて御意見をいただき、その声を市政運営の参考にしたいと考えておりました、継続して開催してまいりました。従来は、テーマはあまり設けずに、フリートークで様々なお声をいただいていたところですが、昨今はやはり新型コロナウイルスの感染症対策というのが小金井市の今の最優先事項となっております。また、皆様方の関心も大変強く、基礎的自治体である小金井市に対して発出したい、発信したい御意見や御希望も多々あると思ひまして、今回は初めてテーマを絞った形で開催をさせていただきます。しかしながら、今日は8時までという限られた時間ではありますが、時間の許す限り、コロナウイルス対策以外のことでも、これだけではぜひ小金井市に伝えたい、市長に伝えたい、話したいということがあれば、どんなテーマでもお受けいたしますので、ぜひそのときにはお話をさせていただきたいと思ひますので、よろしくお願ひいたします。それでは、皆様方から様々なお話を伺う前に、20分から25分程度、すみません、お時間をいただきまして、私から、現在の市政の状況や、また新型コロナウイルス感染症対策についてどのような取組を行っているのか。また、皆様方に今、最も関心の高いと思われるワクチン接種の現状や、今後の見通しなどについて、お話をさせていただきたいと思ひますので、よろしくお願ひいたします。また、本日は手話通訳者の方にも御尽力いただいております。ありがとうございます。私が市長に就任してから、こういった市主催の事業や行事には可能な限り手話通訳者の方々にお越しいたひいて、手話を通じて皆様方にメッセージを発信させていただいております。どうぞよろしくお願ひいたします。

まず初めに、新型コロナウイルスの感染症に関することをご紹介します。新型コロナウイルス感染症が国内でも判明してから、もう1年半という長い年月がたちました。この間、市民の皆様方におかれましては、制約のある生活が続き、市民生活や、また地域の経済にも様々な影響が及んでいる状況であります。私といたしましては、このコロナ禍を皆様方と一緒に力を合わせて乗り越えていけるように、これからも引き続き努力をしてまいりたいと思ひます。さて、4月25日から発令されていた3度目の緊急事態宣言は、6月

21日からまん延防止等重点措置に変わり、7月11日までとなっていたところではありますが、報道等でも皆様も御覧になりましたように、明日にも引き続き、7月12日以降も解除という形にはならず、現在、引き続き予断を許さない変異株の感染拡大が続いているという状況であります。現在、今日、先ほど東京都から発表された東京都内の感染者数、920名という数字が発表されたところでもあります。ワクチン接種も進めているところではありますが、現在、変異株の拡大も続いて、予断を許さない状況と認識してございます。特に感染力が強く、重症化しやすいとされる新型コロナウイルスの変異株への感染が、若い世代を中心に増加しております。現在は感染力が従来株の1.95倍とも推定されるインド型のデルタ株の感染が拡大していることなど、極めて顕著であります。この変異株は全国各地で、また世界各地で様々な変異を続けております。新たな変異株が次々と出現をしている緊張状態が今も続いている。そして、医療従事者の方々は、日々絶え間なく感染症対策と最前線で戦っていただいているという状況です。改めて、感染拡大とずっとこの間、たゆまぬ努力で戦っていただいている医療従事者の方々や、また、保育士さんや、様々な現場でエッセンシャルワーカーとして、感染拡大が続く中にあっても、日々お仕事をいただいている大勢の方々に、改めて感謝を申し上げます。そして、小金井市には、実はたくさんの方々からマスクや、サーモカメラや、防護服や、本当にたくさんの御支援をお寄せいただいております。この感染拡大防止のために役立てればということで、これまでたくさんの方々に御支援や御寄附を賜ってまいりました。御寄附いただいた大勢の方々に、改めてこの場を借りて御礼と感謝を申し上げます。変異株の拡大を防ぐためには、従来からの基本的な感染予防対策、マスクの着用、3密回避、手洗いやうがいの徹底、手指消毒、ソーシャルディスタンスの確保などなど、この間取り組んでいただきたいということで、政府や医療関係者から呼びかけられてきた様々なことにつきましては、これからも引き続き徹底をしていくことが最も重要です。市民や事業者の皆様におかれましては、引き続き感染しない、感染させない最大限の感染予防に努めていただきますよう、お願い申し上げます。併せて、この基本的な感染症対策とともに、希望する方々へのワクチンの接種をより多くの方に、より早く接種ができるように、現在、小金井市では医師会、薬剤師会、訪問看護連絡会、受託事業者の方々と、小金井市と緊密に連携をしながら、現在、ワクチンの接種を鋭意進めているところでございます。さて、小金井市の累計患者数、退院者数でございますが、7月5日時点、最新の数字で小金井市内累計感染者数は1,031名となりました。そのうち退院等をされた方は985名となります。この1,031名という数字は、

小金井市の全人口における、単純計算では121名に1人というふうな状況でございます。医療提供体制が逼迫し、皆様が必要なときに、必要な医療が受けられなくなることはないように、また、4度目の緊急事態宣言が発令されないように、感染拡大の抑制に社会全体で取り組むとともに、感染拡大防止する唯一の切り札であるワクチンの接種を、安全かつ迅速に進めていくことが重要となります。小金井市におきましては、65歳以上の高齢者のワクチン接種を鋭意進めてきたことがありまして、小金井市医師会の皆様方からの見解では、最近の65歳以上の新規陽性者が減少している傾向が示されていることから、ワクチン接種の効果が現れてきているのではないかとの見解が示されているところでございます。さて、小金井市におけるワクチン接種の現状についてお伝えいたします。御手元の資料にA4の横1枚で、このようなワクチンの接種の最新の実績数値を明示した資料となっております、こちらを御覧いただきたいと思っております。それは今日、小金井市のホームページにも、トップページにアップしたものでございます。小金井市はコロナ禍の一刻も早い収束のため、安全かつ迅速なワクチン接種の実施を最優先事業と位置づけております。65歳以上の高齢者へのワクチン接種については、令和3年4月26日から開始しました。そして、医療従事者の方々の接種も医師会の方々によって進められておりました。この間、医療機関等の皆様との緊密な連携によりまして、小金井市では46か所の指定医療機関での個別接種、病院や診療所での接種を46か所で実施しています。そして、プラスして2か所、保健センターと緑センターでの集団接種、合わせて48の会場でワクチン接種を進めております。7月5日現在、最新の接種状況は資料としてお配りしておりますが、総接種回数は5万7,210回、総接種人数は3万4,509人ということで、接種予定人口の約30%の方が接種をしたという統計となります。そして、医療従事者3,700名のうち、1回目の接種が3,537回、96%に達しました。2回目も3,372回で91%ですので、医療従事者の皆様方はほぼ完了したことになります。そして、高齢者、65歳以上の方々への1回目の接種が2万4,213回で、92%に達したところであります。計画上は80%で計画しておりましたので、非常に高い接種率になりました。そして、2回目の接種が1万9,329回、74%となりました。高齢者の方々への接種は、今、完了に向けて順調に接種を進めているという状況です。そして、7月1日、実は6月の下旬からであります。64歳以下の方々への接種もスタートしました。まず最初に、第3グループと言われる基礎疾患のある方、60歳から64歳の方、高齢施設等従事者の方々、こういった方々の接種を優先的に進めておりまして、現在、一般フェーズ、64歳以下の方は6,75

9回接種いたしまして、12歳以上の人口8万5,474人の割合で見ますと、7.9%の接種回数となりました。多大な御協力をいただいております、小金井市医師会、薬剤師会、訪問看護連絡会関係者、従事される看護師など、スタッフの皆様の御努力に厚く御礼申し上げます。65歳以上の高齢者フェーズのワクチンについては、現在、希望する方々の完了に向けて順調に進めているところでございます。そして、一般フェーズの方へのワクチン接種についてでございますが、こちらも市報「こがねい」のトップページを印刷してまいりました。A4の横のこの資料を御参照いただければと思います。今後のワクチン接種のスケジュールをまとめたものでございます。小金井市では、まず16歳から64歳までの一般フェーズの方へのワクチン接種券を一括して6月14日に発送しました。ですから、小金井市では16歳以上の方は全て接種券が届いているという状況になります。さらに、モデルナワクチンというのは18歳以上からのワクチン接種になりますが、ファイザーワクチンは12歳から接種が可能となっております。いわゆる12歳から15歳、ほぼ中学生の方です。こちらの皆様方にも、7月の中旬以降に接種券を郵送させていただきます。

そして、予約の時期や接種時期等につきましては、この御手元の資料を御参照ください。7月1日からは、既に40歳から59歳、児童福祉施設等の従事者の方々の優先予約を開始しました。明日、7月4日からは16歳から39歳までの方の予約の受付を開始いたします。このようなスケジュールとなっております。予約の時期や接種時期等の詳細スケジュールは、市報「こがねい」7月1日号、また、7月15日号にも掲載いたします。

また、小金井市のホームページなどでも随時、最新情報に更新をしておりますので、ぜひ御確認いただければと思います。何か御不明な点がありましたら、小金井市ではコールセンターを設置してございますので、お気軽にお電話いただければと思います。そして、一般の方向けの新型コロナウイルスワクチン接種を間断なく迅速に進めるために、小金井市では、独自の判断をいたしまして、武蔵小金井駅北口の駅前にある旧西友ビルの2階と3階を活用させていただきまして、大規模接種会場を7月14日から開設いたします。約2か月間の期間限定で、18歳以上、モデルナを活用した集中的なワクチン接種を行うことといたしました。このワクチン接種を円滑に行っていくためには、様々なことが全部そろわなければいけません。接種会場の確保、接種体制の確保、また、このワクチンはファイザー、マイナス7.5度であったり、また、モデルナはマイナス2.5度であったり、高度なワクチンの管理体制が求められるとともに、それをきめ細かく配送しなければいけません。ワクチンの管理と搬送システムをしっかり確立するという事、そして、ワクチンの

予約システムを確立するということ。そして、何よりもワクチンを確保するということがあります。こういったことの全てがそろわなければワクチンの接種はできないわけですが、現在、小金井市では、このワクチンの確保と、医師会の先生方の御努力によりまして、今、ワクチンの接種体制の構築に向けて全力で取り組んでいるところであります。市民生活をしっかりと支え、早期の安定化につなげるためにも、ワクチン接種の加速化が極めて重要であり、これこそが私は最大の経済対策でもあり、住民福祉の向上にも直結するものと認識しているところであります。ワクチン接種を希望するより多くの方に、より早く、安全かつ迅速にこの接種を進めていくために、これからも引き続き努力をしております。なお、ワクチン接種に関する円滑な対応を図るために、6月14日からは、これまでのコールセンターの回線は16回線だったんですが、現在、6月15日から27回線に増強してございます。また、7月1日からは、自動電話応答システムを導入しました。また、直接来庁される方もいらっしゃるしますので、そういった問合せの窓口を新たに開設するとともに、聴覚に障害のある方などに対しましては、ファクシミリでの予約の受付などを開始したところでございます。また、皆様方の中にはワクチンの副反応などを不安に感じる方もいらっしゃると思います。小金井市では、小金井市医師会の皆様方からワクチンの副反応などについて分かりやすく解説されたメッセージ、新型コロナワクチンについて、その1からその8までを作成していただいております。資料としてお配りしてございますので、ぜひ御参照していただきたいと思っております。長引いたコロナ禍によりまして制約を受ける生活が長期化いたしまして、地域経済にも様々な影響が及び、先行きが見えない不安を抱えていらっしゃると思っております。小金井市では、長期化する新型コロナウイルス感染症の影響から市民生活を守ることを最優先とする方針の下に、命、暮らし、地域、市民サービスの基盤を守る取組を進めるために、新型コロナウイルス感染症小金井市緊急対応方針というものを策定したものです。現在、第6弾までを策定したところです。本日は、この第6弾の資料をお配りしてございます。こちらは予算措置も伴うものでございまして、市議会の皆様方に各定例会で様々な補正予算案を上程し、御議決もいただきました。そして市議会の方からも、様々な御要請や御要望もいただき、また、市民の皆様方のお声もいただきながら、緊急対応方針の策定にも全力で取り組んできたところでございます。現在、進めている施策の一部といたしましては、市内介護事業所や障害福祉事業所等のPCR検査等への補助、低所得の子育て世帯、住民税均等割非課税世帯等への新たな生活支援特別給付金支給、ICT技術を活用した消費者講座等の実施、既に2,000名の

方にお配りしましたが、市長への手紙にコロナに対する直接のアンケート、質問を設けました市民アンケートの実施、地域を支える市内事業者などの皆さん方への事業者特別支援金の支給、これ大きな意味で第3弾を実施してございます。また、秋口には小金井地域振興券を発行いたします。年齢にかかわらず、全ての市民の方々にお一人様2,500円の地域振興券を発行し、総額3億5,000万円の事業となります。地域経済の活性化や、消費の喚起を目指しまして、商工会や商店会の皆様方としっかり連携をいたしまして準備を進めているところでございます。また、市役所におきましては、小金井市でも、6月からテレワークの試行実施も行ったところでございます。

続きまして、小金井市の人口のほうに少し話を変えてみたいと思います。小金井市の人口は、令和3年4月1日時点で12万4,078名となったところでございます。前年の同じ4月1日時点と比較いたしますと、1,536人増、1.25%の増となりました。東京都が発表している令和2年度の都の統計では、小金井市の人口の増減率の増加率が、初めて都内全体として、多摩地域で1位となりました。増加人数では、都内全体で2位となったところです。そして、多摩地域では1位となりました。これは、ファミリー世帯の転入の超過と、駅周辺まちづくりの進展や、感染症発生による都民の皆様方の意識の変化などが背景にあるものと思います。今後も、人口動向にはしっかり注視いたしまして、引き続き市民の皆様方から選ばれるまち、住みたいと願われる小金井市を目指した市政運営に努めてまいります。

市長就任から6年目を迎えたところでございます。この間、市民の皆様や市議会の皆様方と様々な議論を積み重ねてまいりました。最重要課題の1つと位置づけてまいりました、新庁舎及び（仮称）新福祉会館の複合施設建設につきましては、現在、設計の最終盤となります実施設計を進めているところでございます。

また、小金井市の長年の課題でございました可燃ごみの処理につきましては、日野市、国分寺市とともに、可燃ごみの共同処理を行うことを目的として設立いたしました浅川清流環境組合にて、昨年、令和2年4月1日から日野市内での可燃ごみの処理施設の本格稼働を開始したところでございます。平成19年4月以降、13年の長きにわたりまして御支援をいただきました、多摩地域のごみ処理広域支援が終了いたしました。この場をお借りいたしまして、各団体の施設周辺にお住まいの皆様、並びに関係者の皆様に厚く御礼を申し上げます。市民の皆様方におかれましては、可燃ごみ処理施設周辺にお住まいの皆様をはじめとした日野市民の皆様、及び関係者の皆様の御負担を少しでも軽減するためにも、

さらなるごみの減量と資源化の推進に向けてより一層の分別の徹底に取り組んでいただきますよう、引き続きの御理解と御協力をお願いいたします。可燃ごみ処理施設の本格稼働によりまして、一定のめどがつかしましたことから、平成18年10月1日付で発しましたごみ非常事態宣言は、令和2年度末で終了させていただきました。今年度からは、循環型都市「ごみゼロタウン小金井」～ごみを出さないライフスタイルへ～という新しいスローガンを掲げさせていただきまして、横断幕も全て入れ替えさせていただいたところがございます。持続可能な循環型社会の形成に向けて、発生抑制を最優先とした3Rの推進に引き続き取り組んでまいります。

また、皆様御承知のとおり、駅周辺のまちづくりも、今、大分進展してまいりました。武蔵小金井駅南口第2地区市街地再開発事業は昨年5月に竣工し、完成いたしました。新しいまちが誕生いたしました。東小金井駅北口の土地区画整理事業につきましても、着実に事業を進めているところございまして、東小金井駅北口の駅前ロータリーにつきましても、バスを待つための上屋根、バスシェルターを設置するとともに、最近では奉仕団体の方からとても立派な時計塔を御寄贈いただき、設置しました。また、ロータリーの中には、小金井公園に、非常に珍しいコガネイウスベニザクラという品種の桜の苗木を5本植えるとともに、武蔵野の植生を意識した、重要視したツツジなど、野草を植栽し、完了したところであります。今後は、武蔵小金井駅の北口の新たなまちづくりに取り組ませていただきます。本年3月に、武蔵小金井駅北口駅前東地区市街地再開発準備組合が結成されました。再開発事業などによるまちづくりの検討が進められておりまして、小金井市として引き続き適切な支援を図ってまいります。

これから小金井市の課題は様々ございますが、庁舎、福祉会館のみならず、様々な公共施設の老朽化に対する課題というものがございます。とりわけ、私は市長就任以来、庁舎、福祉会館、清掃関連施設の再整備、この3つの課題を重視してまいりました。中間処理場及び空き缶や古紙などの処理場の老朽化などを考慮いたしまして、清掃関連施設——いわゆる焼却施設ではない、不燃系の施設、こういった施設につきまして、貫井北町の中間処理場と二枚橋焼却場の跡地、この2つの土地を活用した新しい不燃系の清掃関連施設の再整備を今進めております。先行いたしまして、二枚橋焼却場の跡地には、不燃・粗大ごみの積替え、保管施設を整備いたします。市議会の皆様方から関連する予算も御議決をいただきまして、今この施設の建設工事をいよいよスタートするところがございます。令和4年の早期に稼働ができるように事業を進めております。そして、中間処理場には、今、庁

舎建設予定地にある暫定の空き缶やペットボトルの施設などを整備する予定でございます。こちらは令和3年度、今年度中に施設整備に向けた設計を開始してまいります。

また、市長就任以来、特に力を入れてきたことの1つに、保育園の待機児童対策がございます。令和2年度中には、6園の新規開園などによりまして、433人の定員増を進めました。その結果、令和3年4月の待機児童数については、前年同月の97人から56人減の41人、令和3年4月1日時点の小金井市の待機児童数は41人となりました。減少はしたものの、まだゼロには達しておりません。現在もなお保育園に入所できない方がいらっしゃることにしましては、深くお詫びを申し上げます。今後も引き続き、待機児童対策に取り組んでまいります。保育定員数につきましては、私が市長に就任した平成27年が2,007名でした。令和3年4月1日は3,688名となりました。およそ2,007人から3,688人へと定員数が増えました。そして、認可保育園の数も、平成27年、16園でございましたが、今年は39園となりました。令和4年4月、来年の4月1日に向けましても、さらに複数の新設園の開設に向けた準備を今進めているところでございます。現在、このようにいたしまして、小金井市といたしましては、新型コロナウイルスへの適切な対応を図りつつ、様々な重要課題や子育て、子育て教育環境の向上、住民福祉の増進をはじめとする重要な課題について、引き続き長期的な視点を持って一生懸命取り組んでまいりたいと考えております。

また、令和3年度というこの1年間は、小金井市政にとりまして大変大きな節目の1年間になると考えております。それは10年に一度策定をする小金井市の最上位計画であります。第5次小金井市基本構想を今策定しておりまして、審議会では案を策定していただきまして、これからいよいよ小金井市議会の皆様方に御審議をいただくこととなります。早期にこの計画が運用できるように全力を尽くして取り組んでまいります。また、この最上位計画を今、令和12年度までの新しい小金井市の計画を策定しておりますので、関連してたくさんの個別計画の改定も進めているところですし、既に稼働した計画もあります。小金井市政は、今、その大変大きな節目にあるところを、ぜひ御理解いただきたいと思っておりますし、さらなるお声をお寄せいただければと思っております。

時間の関係で重要なところに絞った形の報告となりました。

続きまして、小金井市予算の概要というものを、次に御覧いただきたいと思っております。ちょっと駆け足になりますが、この15ページ、見開きを開いていただくと、すぐ15ページになりますけれども、こちらを御参照いただければと思っております。この中では、令和3年

度に取り組む小金井市の主な事業や、新たに取り組む新規の事業などについて御紹介をさせていただきます抜粋版となっております。その中で、特に新たに取り組む事業や、市民の皆様方からの御関心や御要望の強かった事項について、少し駆け足で御説明いたします。15ページの上から2つ目です。省エネチャレンジに要する経費ということでございまして、温室効果ガス排出抑制、気候危機に対応するための新しい事業に取り組ませていただいております。また、環境教育のモデル校としまして、第四小学校では森林保全の講演会、樹名板作製、設置などを実施し、身近な緑の大切さを学習していく方針となっております。

少しページをめくっていただきまして、18ページの一番上、令和2年度から開始されました、現在も風水害の危機が非常に懸念される季節になりました。静岡県熱海市でも、大規模な土砂災害が発生いたしまして、多くの人命が失われ、今もなお懸命の捜索が続けられております。我が国は言うまでもなく、地震、台風を含めた災害列島であります。大阪で起きた大阪北部地震のときにはブロック塀が倒壊し、小学校6年生の女子児童が亡くなるという大変不幸なことがありました。小金井市のブロック塀等の撤去に対する助成制度というものを初めて導入いたしまして、今年度も継続して取り組んでおりますので、御参照ください。また、19ページの、今日は西之台会館で開催しております、大変市民要望が強い市民農園について、この間新しい市民農園を開設できるよう、全力で努力をしてくているところであります。今年はぬくいみなみ第2市民農園を新たに開設しまして、来年の4月から開園する準備を進めております。20ページ、御覧ください。現在、小金井市では学校のトイレ、こちらに和式のトイレがまだ残っております。小金井市では、マスコミ、メディアの方々が調査を発表されたんですけれども、都内でも洋式化率がワースト1、一番進んでいないという御指摘をいただきました。市議会の皆様方からも様々なお声を、保護者の方々からも様々なお声を、児童・生徒たちなんかからも聞いております。これまでの計画を前倒ししまして、今年度はかなりの予算を投入いたしまして、学校のトイレの洋式化に取り組んでまいりたいと考えております。それから、その次、学校施設の整備に要する経費ということでございますが、この間、小金井市では公立小・中学校のエアコンの導入を進めてまいりました。校舎の中の普通教室や特別教室へのエアコンの設置は進みましたが、避難所ともなる体育館へのエアコンの設置が大きな課題でした。昨年度は、公立小学校9校、全てにエアコンを導入しました。今年度は、公立中学校全て、5校にエアコンの導入を行います。また、その次にはGIGAスクールという、ほとんど聞き慣れない言葉かもしれません。これは、いわゆる小金井の公立小・中学校全体でICT技術を

活用した学校の授業の改善をしていこう、オンラインを使った授業ができるようにしよう
と。ICTの技術を最大限に活用して、教育環境を向上していこうという取組です。小金
井市では、公立小・中学生、小学校1年生から中学校3年生まで、全児童・生徒1人に1
台、既にパソコンを投入いたしました。Chromebookという機種を導入いたしまして、配備
をいたしまして、既にこのPCを活用した授業が進められております。仮になりますが、
臨時休校などになってしまった場合には、皆様、これを御家庭に持ち帰っていただいて、
Wi-Fi等に接続していただいて、オンラインで授業ができるようになりました。こち
らも、引き続き推進してまいります。21ページ、下から2つ目、東京2020オリンピ
ック・パラリンピックに要する経費です。こちらは非常に様々な御意見を本市にお寄せい
ただいているところです。現状、開催するというので今準備は進められております。し
かし、聖火リレー、7月14日を予定しておりましたが、こちらは中止となりました。そ
して、オリパラ競技開催中に準備を進めていた、公立小・中学校児童・生徒の競技の観戦、
学校連携観戦といいますが、こちらも小金井市教育委員会の判断で、学校の皆様方とも協
議していただいて、中止ということで判断をさせていただきました。現在、小金井市では
ロードレースが開催される予定となっております、7月23日が開会式、24日土曜日
が男子ロードレース、東八道路と小金井街道の一部を通ります。翌日が女子となっており
ます。また、小金井市からも3名の市民の方がオリンピックの日本代表に内定、お一人の
方がパラリンピックに内定しました。マラソン女子日本代表、鈴木亜由子選手、陸上女子
5,000メートル、1万メートル日本代表、廣中璃梨佳選手、フェンシング・サーブル男
子日本代表に吉田健人選手、パラリンピック車椅子バスケットボール女子日本代表には、
小田島理恵選手、4名の選手が決定しています。皆様方におかれましては、テレビやイン
ターネットの映像を通じて、ぜひゆかりの選手を応援していただければと思ってい
るところでございます。また、22ページの一番上にある、福祉の総合相談窓口というのがあり
ます。これは、いろいろ、複合的な悩みを抱えている方々が様々な相談ができる、新しい
窓口を、小金井市では社会福祉協議会の方々と協力をして、初めてつくりました。今年度
は、地域住民の相談を包括的に受け止める場の整備のために、包括化支援員という方を増
設いたしまして、配置したところがございます。また、23ページの一番上のところには、
義務教育就学児医療費助成事業に要する経費というところがございます。これまで小金井
市では、乳幼児、未就学児の方々の医療費の実質無料という状況でした。その後、数年前
に市議会にて議員提案が可決をされまして、小学校1年生から3年生までの方々に所得制

限廃止となりました。今年の10月からは4年生から6年生までの方々の所得制限を廃止し、負担軽減に取り組ませていただきます。そして、中学校3年生までの方々、中1から中3の方々につきましても、段階的にこの同じ制度が導入できるように検討を進めてまいりたいと考えているところです。

以上、駆け足となりましたけれども、私からの市政報告は以上となります。この後は、まずは新型コロナウイルス感染症対策について、皆様方から様々なお声をお寄せいただければと思いますので、どうかよろしくお願ひ申し上げます。貴重な、貴重なお時間を賜りまして、誠にありがとうございました。

3 懇 談

○司会者

それでは、意見交換のほうに入らせていただきたいと思います。テーマは新型コロナウイルス感染症についてとなります。なるべく多くの方に御発言いただきたいと思いますので、どんなことでも構いませんので、御質問いただければと思っております。それでは、御意見のある方は挙手をお願いしたいと思います。よろしくお願ひします。

○西岡市長

コロナに関しましては、本当にどのようなことでも結構です。ワクチン接種に関する御意見、御要望、あるいは、小金井市が取り組んでいる様々な感染症対策や、あるいは支援策もあります。あるいは、こんなことにも取り組んでいただきたいということも多々あるかと思ひます。1年半という長きにわたりまして様々な制約を受け続けておりました。今、大変緊張状態が続いている状況です。私たちといたしましても、一刻も早くこのコロナ禍を乗り越えていきたいと考えておりますが、引き続き、この感染症対策と市民生活、事業者の皆様方への支援策、そしてワクチン接種というものを同時に進めてまいりたいと考えているところです。どうぞ、どのようなことでも結構ですので、お声をいただければ大変うれしいです。

○市民A

小金井の本町〇丁目に住んでいる〇〇と申します。今日は、他にもお聞きしたいことが

あるんですけども、まずコロナ関係で、本当に今日は920人という、かなり大幅な、本当は収束に向かって感染者が減ってくるかという期待をしていましたけれども、残念ながらオリンピックは絶対やるというような状況で、毎日、毎日、いろいろとオリンピックとコロナの問題で、国民は本当に苦労していると。オリンピックも間もなく開催ですから、観客をなしにするとか、あるとか、5,000人、1万人とか、いろいろなことでまだまだ決定、本当は事前に決めないといけないことなんですけれども、もたもたしているというのが状況だと思います。小金井市の市長さんから、いろいろなコロナ関係とか、オリンピックの問題で、小金井市としての対応の仕方の説明がありました。当然、聖火リレーもそうですし、小・中学生、教員の参加がとんでもないと、私は思って、賢明だと思っております。それで、コロナの問題で、今年の東京都知事選と4日に行われた都議会議員の選挙のときも、本当に保健所の問題が、昔は小金井も、三鷹も、武蔵野も、調布もというように、今府中に一つにまとめられたということで。コロナ感染症が発生したときには、保健所の対応が間に合わないということで、都知事選にしても、区議会議員の選挙にしても、多摩地区、三多摩格差の問題を大きくうたわれまして、5年、10年には、なかなか保健所もできませんけれども、ぜひ保健所を増やしてほしいと。今回のコロナの感染に関しては、小金井の医師会とか、そういうところの御協力があって、私も7月4日に2回目のコロナのワクチン接種が終わりました。とにかく保健所もそうですし、そういうところをもっと充実させるというのが、この場に及んで、数は少ないほうがいいとか、この世の中、少ないほうがいいとか、そういうことで、大分民間であるとか、独法というか、独立行政法人にするとか、そういうのが非常に多いので、本当に残念なので、小金井の市議会とともにやっていただきたいと思います。

それと、全然、話は違うんですけど、これだけの少人数で、私はちょっともったいないなど。だから、宮地楽器ホールとか、あの辺を利用して、コロナの感染を予防した対応で、もっと市民の方々に、今日はいろいろな資料をいただいていますけれども、こういうようなことが、市民にとってもっともっと、今日の話のようなことは知りたいというような人はたくさんいると思うんです。たまたま市報を見て、今日、市民と市長の対話集会ということで、その中で関心を持ったのは、手話通訳付きというのがありましたし、保育もありましたので、それで来たんです。ただ、この場所を探すのが、不正確で大変なんです。今日も市役所に電話をしたんですけども、武蔵小金井駅の南口からどこ行きのバスで、どこの停留所で降りたら近いんですかって、ちょっと返事をいただけなかったもので、バスの

運転士さんに聞いて。それから、歩いて、本当に時間もぎりぎりで、やっと間に合いましたけど、もう少しいろいろな問合せにも即お答えされるような。ここは、市の施設ですか。

○司会者

はい、そうです。

○市民A

そうしたら、市の職員の方々は、問合せがあったら、すぐに武蔵小金井駅の南口から、どこどこ行きのバスに乗って、停留所はと。何回か、ここに来るまでにこの地図を見せたんですけれども、いろいろな人に聞いても、どこが。東小金井の2か所の期日前投票のあれを参考にして来たんですけれども。武蔵小金井駅とか、東小金井駅というのがあるから見当がつくんですが、これは全然ないですね。ですから、この辺も、今日初めて来たんですけれども。本当に先ほども話したように、ちょっともったいなかったかなと。もっと多くの市民の方々に興味を持って来ていただければよかったなということを感じました。

○西岡市長

貴重な御意見、御質問をいただきまして、誠にありがとうございます。まず、新型コロナウイルス感染拡大への見解や、様々な思いをお聞かせいただきました。なかなか抑制につながっていかないんです。これだけ長い間、感染症対策に取り組み、また、高齢者からではありますけれども、ワクチン接種も進んでいるところでありますが、感染力の強い変異株が、次々とまた形を変えて出現してくるという状況です。本当に見えざる脅威だと思います。しかし、何としても乗り越えていかなければいけないというのも事実であります。

まず、保健所の件で、もっと都内に増設すべきだということでございます。御承知のように、多摩地域で保健所を持っているのは町田市と八王子市のみで、残りの24市は独自の保健所を持っておりませんので、東京都の保健所と連携をしています。小金井市は多摩府中保健所というところで、6市圏域になっています。この多摩府中保健所を構成している6市の人口を全部合計すると、約105万です。105万人という規模は都内でも最大クラスになります。保健所の職員の方々も、とてもこの1年半、本当に御苦労をされていることと思います。保健所の圏域の在り方については、これは恐らく間違いなく議論になると思います。私も、東京都市長会を通じて、今後、今すぐコロナの感染拡大の状況の中

で再編をするというのは非常に難しいと思うんですけども、コロナが落ち着きましたら、今からでもいいんですけども、早速に保健所の在り方、特に対象とする圏域や規模、また、感染症のパンデミックが発生したときの対応と、平時の対応。常にパンデミックの状況を保持するというのは確かに難しいかもしれませんが、いざパンデミックが発生したときの増強体制ですとか、こちらの東京都におきましては、コロナを踏まえた今後の感染症対策や保健所の在り方については、ぜひ議論をしてほしいと思います。私も昨年、10月だったでしょうか、小池東京都知事と、私、小金井市長と、直接、インターネットで公開された中で、限られた時間になりますが、意見交換会がありまして、小金井市長として、時間が限られているので、絞った形で小池都知事に直接要望しました。そのうちの1つが、保健所の機能の在り方をぜひ議論していただきたいということでもあります。なので、新たな都議会でも、この保健所圏域の在り方、保健所機能の在り方、保健所体制の在り方については、当然議論していただけるものと思っておりますし、東京都市長会からも、ぜひ積極的に意見交換をさせていただいて、よりよい保健所の圏域の在り方を構築していく必要があると、私も思います。ただ、小金井市は直接、保健所を持ち得ない、持っていない基礎的自治体でありますので、これまでもこのいわゆるパンデミックに対しましては、他の保健所や、また専門的な知識をお持ちの小金井市医師会の皆様方と連携をしながら進めてまいりました。当面は、この連携をしっかりと大切にしていきたいと思います。もちろん、これからです。

それから、オリンピック・パラリンピックについての御意見も賜りました。御意見として承りますが、私といたしましては、市民の皆様方には、また集まってくださいと呼びかけるような場面、今のところ想定はしておりません、まずはオリンピックについては。なので、テレビやインターネットの映像を通じて、ぜひ小金井ゆかりの選手やアスリートの活躍を御覧いただき、エールを送っていただきたいと申し上げたいと思います。

それから、市民と市長の座談会ですね。もう少し多くの方に参加していただくとともに、もっと便利な場所であったり、また場所を告知する際にはもっと丁寧ということを、御意見として拝聴させていただきます。私といたしましては、コロナ禍の中での開催なので、なかなか大人数では開催しづらいという意見もありますが、今回も人数を絞った形で開催しています。また、場所についても、なるべく皆様方の近くにこちらから行くという姿勢を大事にしているので、ここは西之台会館、マロンホールであったり、婦人会館であったり、上水会館であったり、大分きめ細かに、年4回なんですけど、回っています。ただ、御

指摘いただきましたように、ときには宮地楽器ホールの小ホールであったり、萌え木ホールを活用して、より便利な、集まりやすいところで開催するということも、今後も十分に検討してまいりたいと思っております。ちなみに、ここは西之台会館と申しまして、坂下地域の中にある公共施設で、その集会施設がございます。今年の3月の市議会議員選挙からは、初めて坂下地域にも、選挙のときに期日前投票所を開設させていただきました。期日前投票所は、告示日の翌日から第二庁舎の6階、これは毎日やっています。そして、その後、東部地域の方々の利便性をということで、マロンホール、2日、開始しました。あれは4年ほど前です。今般、初めて市議会議員選挙、都議会議員選挙、西之台会館、坂下地域の方々の利便性を高めるとともに、投票率の向上に向けた一環でもあると思っておりますが、開設をさせていただいたところでございます。

私からの回答は以上ですが、何か再質問とか、もし御要望があれば、何でも。

○司会者

ありがとうございます。引き続き、御質問のある方はいらっしゃいますでしょうか。

○西岡市長

まずコロナ対策でお願いします、ここの場を。コロナ対策で、その後、ほかのテーマで。

○市民B

いろいろあるんですけども、コロナという意味では、こういう場で少人数でやらざるを得ないし、こういう場も必要なんですけれども、テレワークというのを推進にしている、Z o o mでの配信によるというのも一般的になってきているので、ここはぜひ、ほかでは普通のように使っている、せめてZ o o mでの配信をして、そこで質問何かを受け付けたい。Z o o mと会場で同時に行うということは、ほかでは一般的にやられているので、これはぜひ小金井でやっていただきたい。

○西岡市長

伺っておきます。

○市民B

それも、この場だけじゃなくて、公民館とかで講座を行いますね。貫井北なんかはZoomなんかでやっていますよという話になって、じゃ、公民館はという話になると、セキュリティの関係でできないとか何とか、わけのわからないことを言うわけです。Zoomはやっているでしょうという話なんだけれども、公民館はできないと言うわけ。だから、1年半ぐらいたっているから、そこら辺は早急に対応したほうがいいんじゃないかなと思いますね。もうちょっと。

GIGAスクールということで、小学校でオンラインをという話を、先ほど話し合っていたんですけども、まだオンラインは小学校はそこまで手が回っていないのかなという気がするんです。なので、そこら辺を本当にオンラインというのを見据えてやるならば、やっぱりそれなりに、それなりの人員を入れて、そういう設備に関してサポート体制をつくらないと、実際、無理でしょうと思うんです。今、実際、パソコン、小学校なんかに入っていますけれども、まだ十分に使い切れていない面があるかなというのが印象であるので、教員の先生の負担がすごい増えるので、そこら辺はサポートするなり、先生にだけ押しつけるのはどうかなという気がしているので、そこら辺の対応をお願いしたい。

ちょっともう一つだけ。コロナで今、すごいそういう方面に行っているんですけど、実際、地震というのも、コロナには関係なくして、いつ起きるかどうかわからない状態ですね。防災対策の経費が計上されているんですが、私が一番心配しているのは、水道が止まったときのトイレってどうするんですか。そこら辺の案内がよく分からないので、食べ物は何とかなるでしょう、水も何とかなるかもしれないねと。トイレ、こればかりは1か所造っても、みんな集まっちゃうんです。健康上の問題もあるから、そうすると我慢する人が出ちゃってよくないなという話もあるので、ちょっと考えてほしいし、市民の人にこういうふうなところに設置して、処理できますよというような案内をしてほしいと。

○西岡市長

貴重な御意見、御質問をいただきまして、ありがとうございます。小金井市も、もっともっとオンラインも活用した、Zoomを活用した会議を、また公民館でもオンラインを活用した公民館講座の開催など、積極的に活用すべきだと。遅れているではないかという御指摘でございます。御意見はしっかり受け止めさせていただきます。

市長のタウンミーティングなので、オンラインを活用している自治体もあることも承知しております。私も今後、オンラインを活用した意見交換などもぜひ考えてみたいと思っ

ています。既に小金井市では審議会を、重要な審議会がめじろ押しでしたので、期限も迫る中、緊急事態宣言がかなり長期間にわたっていましたので、このままでは計画がどんどん遅れてしまう。開催できるなら開催しようということで、オンラインと、市役所に来ていただく方とのハイブリッドでやったり、今、いろいろなことが試行錯誤にやっけてまいりました。今、経験も、だんだん今、小金井市役所も積み上げてまいりましたし、インターネット環境も整えてきました。今現在、小金井市で行っている庁議も、遅ればせながらやっけてペーパーレス化になりまして、私も、部長さんたちも、今ノートブックパソコンを持ち込んで、紙の資料は配付せずに、ペーパーレスでやっけて会議をするようになりました。なので、オンラインの活用は、これはあらゆる分野で、ここだけということではないと思うんですが、ICTの活用は、正直、小金井市は少し遅れていると思います。私もそういう認識は持っていますので、頑張りたいと思います。ただ、コロナ禍でいろいろなことが発生しました。しかし、今までなかなか進まなかったことが、コロナ禍によって進んだこともあります。それがまさにオンラインです。コロナがもし発生していなければ、ここまでは進んでいなかったと思います。最もその背中を押したのがGIGAスクールだと思います。今、小金井市では児童・生徒1人に1台Chromebookを整備しました。そして、各小・中学校はカテゴリシックスという大容量、超高速のWi-Fiのインターネット回線が入っています。全児童・生徒が学校の中で動画を見ても固まらないぐらいのレベル感だと聞いております。そういった意味でも、このGIGAスクール構想をしっかりと進めてまいりたいと思います。小金井市では、先般NTTコミュニケーションズと、東京学芸大学と、小金井市とで初めて連携協定を締結させていただきました。まさに学校の教員の先生たちが、ノートブックパソコンを活用した授業のスキルを高めたり、様々なソフトを活用したり、授業の進め方を改善したりということで、小金井市教育委員会だけではなくて、民間企業が持っているノウハウ、大学が持っているノウハウ、お互いに協力し合っけて小金井市の公立小・中学校を舞台に、その研究がスタートするとともに実践をしていこうということになりました。今日は、大熊教育長がいないので詳細をお伝えできませんけれども、どのような状況で今進めているのか、御関心がありましたら、遠慮なく小金井市教育委員会のほうにぜひお問い合わせいただきたいと思います。実は、小金井市の公立小・中学校では、もう既にノートブックパソコンを自宅に持ち帰っけて、オンラインで課題をしているという事例も発生してまいりました。また、自宅にWi-Fiの機能がない方につきましては、そのWi-Fiのルーターなどをお貸しできるような仕組みも整えていただいております。

ます。ただ、これは本当に、まだまだ始まったばかりという状況でございます。ただ、これは、これからまだまだ発展していく可能性も秘めている分野でございますので、その研究をどんどん高めていただいて、よりよく授業を改善していくツールにしていきたいと思っております。大熊教育長いわく、このノートブックパソコンを活用することによって、何かを調べたり準備をする時間が大幅に減ると。その分、問題を解決したり、みんなで議論し合ったり、アクティブラーニングにつながるような時間をかなりかけることができ、これを最大限活用して、子どもたちの考える力を高めていくために大いに活用したいとおっしゃっていました。もちろん、学校では昔ながらの観察記録をつけたり、土に触れたり、野菜を作ったり、大事にしなければいけないものもあります。一方で、このような便利なものをしっかり活用させていただいて、教育の向上に努めてまいりたいと考えているところです。まずは、このNTTと学芸大学との連携を1つの大きな節目、きっかけとして進めてまいりたいと思っております。

さて、防災時のトイレ問題です。これは本当に極めて重要な課題です。小金井市が今進めていること、種々あるんですけども、1つは、避難所となる公立小・中学校に、毎年、毎年、マンホールトイレというのを設置しております。これは、もちろん誰でも利用できるものです。マンホールトイレは、仮設のトイレ、各学校に10基ずつ造っています。これはプールの水などを流すことによって、トイレが直接下水道につながっていますので、直接排水していくというシステムがあります。今、公立小・中学校全校に設置するために準備をさせていただいています。この辺ですと、南中学校にもつけましたね。計画的につけていくところで、これまでは年に1校だったんですが、ここから先は年にもう少し増やして、なるべくあと数年で各公立小・中学校、14校にマンホールトイレを設置していきたいと思っています。それ以外の、いわゆる私たちのふだん生活している自宅で、本当にトイレが止まった、水が流せないとなったときには、皆さん、路頭に迷うと思います。そのときにどうするか。確かに昨今、いわゆる土地を使った暫定的なトイレの造り方なんていうのが防災ブックに出ています。たしか東京都の防災ブックに載っています。でも、本当にそれぐらいのことをしないと、さばけないですよ、正直我慢するわけにいかないのです。自宅のお風呂にためるわけにももちろんいきませんし、そういった意味では、まだまだこの辺の分野、遅れているところです。トイレトレーラーなんていうのがありまして、困ったときには、そのトイレトレーラーが来て、限られた人数しかさばけないかもしれませんが、緊急用のトイレトレーラーを活用したらいいではないかという御提案を、市議会

の方々からいただいたところもございます。でも、御指摘のように、防災のときに、本当にトイレが流せないとなったときには、生活の中で欠かすことができないものですので、そのトイレ問題、しっかり取り組まなければいけない課題だと認識しています。まずは、マンホールトイレをしっかり準備してまいりたいと思っております。再質問がありましたら、どうぞ、何でも。以上、3点はいいですか。

○市民B

はい。もう一つ。小金は、人口が増えて、すごい人気なまちになっていると思うんです。ますます小金井って、こういうまちだなど、子育て環境日本一というフレーズはありますけれども、何か小金井といたら、例えばですよ、何か変ですけど、ラーメンのまちとか、何かあれば、ああ、小金井というのはそういうまちなんだとかね。自然のまちというと、ちょっとインパクトがないなと思うんですけど、そういう構想ってないんですか。

○西岡市長

小金井のシティープロモーションですね。小金井といえば、打てば響くようなまちのシティードレッシング、シティープロモーション、何か打ち出すべきではないかと、大変いい御提案をいただきました。市民の皆様方からは、やはり住環境がいい、東京の都心にある割には、水と緑の環境がいい、自然環境がいい、公園が多い、大学や高校が多い、平均年齢も若い。小金井市の平均年齢は今44.1歳なんです。多摩地域では2番目に若い。一番若いのは稲城市なんですけれども。やっぱり大学の学生さんが多いことや、ファミリー世帯が多い。今、昨今、ファミリー世帯の皆さん方は、転入超過で、こういう御時世といえますか、先ほど発表しましたが、本当に数字で表しているんですが、都内全体で、東京で初めて人口の増加率が一番になったんです。市長としては、大変ありがたいことだと思います。これは、もちろん武蔵小金井駅南口の再開発だったり、駅周辺のまちづくり、いろいろな要因があると思います。また、コロナによって職住隣接でなくても大丈夫だと。最近はテレワークも進んでいます。週に1回、2週間に1回、会社に行くだけでいいということで、住環境の価値観も変わってきている。もっと小金井よりも西のほうに行かれる方も当然いらっしゃると思います。いろいろな変化がございます。そんな中で、おっしゃるように小金井市のまちに、これはと言われるような、小金井と言えば、打てば響くイメージをぜひつくっていただきたいということは、大変貴重な御提案だと思います。そうで

すね、確かにラーメン街道が有名だったり、アニメの産業が有名だったり、日本の標準時刻がつくられる、時を生むまちであったり、公園が多いまちであったり、大変いろいろな魅力があります。何か御提案ありますか、こんなのでしょうかと。

○市民B

ぜひ何かね。また、時のまちというのは、時のまちなんですね。

○西岡市長

ロマン、ありますよね。

○市民B

日本に1か所ですから。

○西岡市長

そうですね、1か所ですね。

○市民B

だから、そういうのでもいいのかなという気がします。

○西岡市長

やっぱり18個の電子時計で日本の標準時刻をつくって、それを配信しているのは小金井市内のNICT。これは、ほかの自治体には全くないことで、小金井オンリーなんです。ですから、オンリーのことというのは魅力の1つになると思いますし、ロータリークラブの方々が駅に大変すばらしい、うるう秒を表示できる特別な時計も作っていただきましたので。時が生まれるまちというのは、私も時々市議会の皆様方からも御質問をいただくときに、これは私としてはぜひ強調したいんですよということも訴えまして、いろいろなパンフレットにも出していると思います。でも、その辺の打ち出し方がちょっと足りないかもしれませんね。

○市民B

何か、こういうまちですよって言えば、ほかの人も理解する、ああ、あそこのまちねと。それが欲しいなど。

○西岡市長

理念的に大事にしたいのは、もちろん住民福祉や、子育て環境や、そういう政策面でも頑張りたいと思うんですけれども、私はいろいろなことに挑戦できるまちでありたいと思うんです、市民の皆様方も、行政も。例えば会社をつくる、起業する、小金井で新しい家庭を持って、子育ての挑戦に取り組む。子どもたちは自分の目標に向かって、新しい挑戦をする。そういう人々、市民の方々の様々な目標に向かって頑張る挑戦を応援できるような、そういうまちであつたらいいなど。何かちょっと理念過ぎちゃって、格好よすぎることを言っているかもとれませんが、でも、僕は本心でそう思っているんです。そういう人々の挑戦を応援できるまちであつたらいいんじゃないかなと思っております。ただ、なかなかこれはイメージとしては響きにくいかもしれません。おっしゃるように、こういうものがあつたらというのを意識したいと思います。いっぱいあるんだろうと思うんです。ある種、都市農業が盛んとか。

○市民B

意外に、これってすごい重要なことなんです。

○西岡市長

重要です。

○市民B

例えば挑戦できるまちとするじゃないですか。そうしたら、やっぱりいろいろな行政なんかも、それに向かって、じゃ、挑戦しようじゃないかというふうな、職員のモチベーションも変わってくるんですね。だから、1つの方向性を示すというのは、リーダーにとってはすごい重要だと思います。この方向だよというのを示して、あとはあまり細かいことを言わないんですね。

○西岡市長

私が認識してきたのは子育て環境ですね。日本一にしたいんだと。時々その指標は、どういう指標であるか、厳しい御意見もいただくことが多々あるんですが、思いとしては、やはり子育て環境を目指す、向上を目指すということは、いろいろなことに派生してきます。単に子ども目線だけではなくて、例えば子ども目線に立ったまちづくりを考えれば、当然それは障害をお持ちの方や高齢者の方々にも優しいまちづくりになりますし、子育て環境を充実するためには、孤独な子育てを、誰も知らないところで、誰の支援も受けることがなく、孤独な子育てが小金井で行われないようにしたいと思えば、当然、御高齢の方々にも、これまでの経験を生かしてもらって、子育てひろばでアドバイスしてもらおうとか、いろいろな取組に波及していくので、私としては、おっしゃるように1つ旗印というか、これをしっかり。これは、諦めてはいけないんです。粘り強く頑張らなければいけない。これは根気が必要なんですけれども、そういう旗を立てるということは大事で、1つのことに取り組むことが、実はほかのことにも波及していくんだらうと、私も思います。そういうことは本当に大切にしていきたいと思います。貴重な御意見ありがとうございました。

○市民C

野川の桜のことなんですけれども、もう五、六年も前、シダレザクラが兩岸をずっと流れるように咲いて、すばらしい景観だったんです。それで、千葉の人が、2年ほど前に、どの写真を見たか知らないんですけども、野川の桜がすごいだってね、私が一度見たいから、行くわと言うから、とんでもない、今来ても駄目、駄目。みんな、見る影もないから、来ても損だから、来なくていいと言ったんです。それで、また見に行ったら、その周りのおじいさんが言うには、やたら切らせたから、そこからばい菌が入って、みんな枯れてしまったんだと言うのね。でも、あれは都のものだから、野川は都の仕事だから、小金井市じゃないんだと言われて、あれ、小金井じゃないの、なんて言ったんですけど。やっぱり、あのすばらしいシダレザクラをあのままにしておくのはもったいないから、府中の人が切ってしまったとか言うんですけど、それをもう一度、小金井市として掛け合って、新しい木を植えるとか、何かしたらいいなと思いました。

あと、いいですか、もう一つ。ごみの問題なんですけれども、非常事態が発生した頃から、長いこと給食の燃やすところを利用して、土曜日は燃やさないからといって、お年寄りでもないんですけども、仕事をしていない人たちが集まって、地域のそういう生ごみを

燃やしてくれているんですね。だから、それはいろいろな小学校とか中学校のを借りて燃やしていると思うんだけど、前原小学校に私はいつも土曜日に持っていきます。そして、それは和気あいあいとやってくれているけれども、ごみをあそこで毎週土曜日に燃やすというのは、本当、ただ勝手にやっているんだろうみたいな感じじゃなくて、ごみ問題を大事に考えて、それでやってくれているんだから、何か1年に一遍でもいいから、ねぎらうようなことにしてあげてほしいんですね。それは、予算が絡むかもしれないけれども、1年に一遍ぐらいどうにかなるんじゃないかななんて思うの。私は時々果物を持って行って、ちょっとこれ、つまんで食べてだとか、チョコレートを持って行って、ちょっと帰りがけになめてだとか、そのぐらいはできるけど、そんなことは大したことじゃないんだから、何かないかなと思うんで、ちょっと考えてあげてほしいなと思うのね。そりゃね、あそこへ来て、おしゃべりしながら和気あいあいとして、それはそれで楽しんでやっているかもしれないけれども、やっぱり貴重な時間をそこへ行ってやっているんだから、何かできないかしらねと思って、市長さんをお願いしたいんです。

それと、あと小さな公園にユズの木をいっぱい植えてくださってあるでしょう。あのユズが高い木になっちゃって、とげとげで、例えば好きに取っていいよと言ってくれたとしても、高枝ばさみか何かを持ってこないと取れないわけですよ。それで、それが真っ黒になって落ちるまで、放ったらかされているの、たくさんなっているんだけど。あれ、公園の管理者の名前は書いてあるんだけど、あの人、何やっているんだろうなと思うの。草もぼうぼう生えたままにしてあるし、落ちたユズもそのままにしてあるし、何の責任者なんだろうと思うんですけれども。ああいう人たちが、公園係とかが摘み取る頃に、ある程度、全部じゃなくてもいいから摘み取って、段ボール箱に、どうぞお持ちくださいと置いておいてくれたら、うれしいなと思うわけ。

それと、あと一ついいですか。駅のところの小金井街道のところと、一方通行の道があるでしょう。あそこの間にサルスベリを昔植えてくれてあったんですね。夏、きれいな花が咲くサルスベリ、あれを今、ところどころの幹が丸裸になっちゃっていて、頭をちょん切って、邪魔なんだか知らないけど、切っちゃったのね。あれ、誰がやったか知らないんだけど、あんな要らないんだったら最初から植えなきゃいいのに。やっぱり植える人と、近所の商店街の人と相談して植えたら無駄にならないのになと思うので、これからは、そういう予定があるんだったら、こういう木を植えたらどうかねとかって一声かけながら植えたら、無駄にならなくていいなと思うんです。

細かいことですが、よろしく申し上げます。

○西岡市長

貴重な御意見、御要望、4点いただきました。ありがとうございます。野川のシダレザクラです。あのシダレザクラは、今から二十数年前ですかね、東京小金井のロータリークラブという奉仕団体の皆様が100本近く植えてくださった貴重なシダレザクラです。その後、生育し、私も実はあのすぐ近くに住んでいまして、あそこで育ちましたので、本当に見事な桜になりまして、名所になりました。満開のときにはたくさんの方が撮影に来られ、散歩に来られました。あの桜がとてもきれいなので、これは私事で大変恐縮ですが、柴犬の小さな豆柴という犬を飼ったんです。我が家に来たのがちょうど4月で、シダレザクラが満開だったので、我が家の犬の名前はサクラにしました。それぐらい、私にとってもなじみのある桜です。しかしながら、大分老朽化しました。管理は東京都の北多摩南部建設事務所で管理をさせていただいております。東京都の管理下にあります。気候もあるかもしれません、老朽化もあるかもしれません。あるときから、だんだん花の咲きっぷりもいいまいしょうか、少し弱くなってきてまして、私も当時、東京都議会で活動しておりましたし、恐らく市民のたくさんの方々から、この桜、ちょっと元気がないので何とかしてくださいという要望は、相当、東京都に行ったと思います。そういった状況で、樹木医という樹木を診る専門家の方に診ていただいて、下草を刈ったり、剪定をしたり、専門家の方々にいろいろなことに取り組んでいただきました。剪定をしたから、そこからばい菌が入ったとおっしゃっている方がいらっしゃるようですが、それはそうとは断定はできないと思います。専門家の方々、東京都が職員の方が勝手にやったわけではもちろんなくて、専門家の方の御意見もいただいて、本当に東京都の皆さんも一生懸命やってくださっている。しかしながら、地球温暖化であったり、下草の状況であったり、樹木の年齢であったり、いろいろなことが要因としてあるんですが、昨今、なかなか回復しません。しかし、継続して諦めずに、東京都の皆様には少しでも回復するように、私からも引き続き御要望はしてまいりたいと思っております。私も回復を願っている市民の一人です。ただ、野川では、最近、貫井神社の近くですとか、桜がどんどん立派に成長されて、新しい名所もできていて、私も野川が好きですからよく歩きますと、4月はきれいですね。この西之台の目の前も桜がすごくきれいに咲いて、野川には複数の名所があって、本当にいいところだなと、この桜を大事にしていきたいと思っております。

2点目です。前原小学校のみならず、小金井では小・中学校で生ごみ処理機を使って、毎週土曜日や、また夏休みに集中的に生ごみ処理機を活用したキャンペーンをやっています。あそこでは燃やしているわけではありません。生ごみ処理機で熱乾燥といいたく、こういったものを活用しまして、生ごみを処理して堆肥にしています。この堆肥は堆肥として、また市民の方々に還元をしています。決してあそこで焼却しているものではありません。私も、年に1回、夏休み中にこの生ごみ処理を、暑い中、朝早くから毎日のように当番で持ってきていただく市民の方々、いろいろな御対応していただいている方が大勢いらっしゃいますので、私も必ず、最低1回は各小学校・中学校を直接訪問して、感謝と御礼を申し上げております。これからもその取組はしっかり続けてまいりたいと思います。とても大事な取組です。

それから、公園、ユズの木ですね。どちらの公園ですか、名前分かりますか。

○市民C

野川のところにもありますし、それで前原のTERAKOYAさんのところをずっと下に降りてきたところなんですけど、小さな公園なんです。そこに3本か4本植えてあって、すごく屋根よりも高く伸びちゃって。だから、その隣が駐車場になっているんですね。こっちは民家ですけど。だから、駐車場の車の人も嫌なんじゃないかな、なんて思うので。

○西岡市長

このユズのみならず、今、公共施設、公共用地に派生している様々な樹木がいっぱいあります。これらが早くかなり成長してきていまして、民家の上にもどうしても植生が伸びてしまって、落ち葉や、木の実や、様々なことで何とかしてほしいという御意見がこちらからあります。都度、都度、小金井市ではその所管している課が担当しておりまして、なかなか対応が十分行き届いていない点についてはお詫びを申し上げたいと思います。いわゆる木の実や果実については、確かにナツミカンですとか、幾つか実がなるものがあります。かなりあります。その対応について、どういう方法がいいか。今の段ボールに入れて、御自由にお取りくださいという方法もいいんじゃないですかと。確かにそれも1つの方法だと思います。放置をすれば、それが地面に落ちて、結局清掃することにもなりますので。幾つか、そんなにたくさんあるわけではないんですけども、実際に市民の方々から御要望をいただくこともあるので、ちょっとこれ、環境政策課というところが対応して

いるんですが、小金井市立公園で実なるものについて、適切な対応について、どのような方策がいいのか、担当とも相談させていただきたいと思います。よろしくお願いします。

また、小金井街道のサルスベリ。これ、一方通行から新しくできた再開発のところのイトーヨーカ堂のほうに向かっていく一方通行のことをおっしゃっていますか。

○市民C

そう、あそこの小金井街道とのちょうど角地の。

○西岡市長

そうですね。これ、剪定した理由は、私も詳細を把握していないんですけども、もちろん、何らかの理由があつての剪定だとは思っています。

○市民C

剪定じゃなくて、幹の中ほどからがばっと切って。

○西岡市長

じゃ、場合によっては木が枯れてしまっていたのかもしれませんが。何もなくて突然刈ったりはしませんので、もちろん何か理由があつたんだと思います。今、それを明確に御答弁できないのは大変恐縮なのですが。必要であれば、道路管理課で管理しているんですが、お名前とお電話番号を教えていただいたら、どうしてそのような対応をしたのか、また、今後の樹木の在り方についても、担当から御連絡を入れさせていただきたいと思えますので、終わった後、相談させてください。樹木につきましては、街路樹は小金井市中でもとても重要な位置づけだと思っています。小金井市は街路樹の種類が多くて、そこが特徴なんです。種類のいろいろな街路樹が、小金井市には市道、都道に植えられている。これは1つの小金井の特徴と言われています。そういう意味で、サルスベリもとても大事な樹木だと思うんですけども、これからも、適切な管理にはしっかり努めてまいりたいと思いますので、よろしくお願いします。

どうぞ、ほかにございますでしょうか。どなたでも結構です。どうぞ。

○市民D

梶野町の〇〇といいます。今日はコロナウイルスの感染症の話ということでしたので、私の体験ですが、コロナ接種2回、無事終了しました。今回はとても市の、私のかかりつけのお医者さんにお電話をいただいて、どうしますかと。今、自分で予約をとるのも大変と聞いている中、今回、小金井市の個別接種、とても助かりました。皆さん、周り、若い人たちだから、これからの人も多いかと思うんですが、それをとても感じました。それと、最近、市長さんは子育てしやすいまちを特徴にしたいと。私、東小金井に住んでいるのですが、今年度も39、施設が増えたとおっしゃっていて、本当に歩いていると目にするのが、保育士さんが子どもと一緒に散歩している姿をよく目にするんです。そこでですが、若い先生方のコロナ接種の進み具合は100%でしょうか。

○西岡市長

以上ですか。

○市民D

そのことが1つと、さっき特徴あるまちづくりというお話があったんですが、もちろん武蔵小金井は華やかでとてもうきうきするんですが、東小金井は市長さん、子育てに関するまち、いかがでしょうか。提案します。

○西岡市長

貴重な御意見をありがとうございました。ワクチン接種が2回終了したということ、また、かかりつけの先生自ら御連絡をいただいたということ、まさにここが小金井市のワクチン接種の1つ特徴でございます。ワクチン接種は自治体によってやり方は様々です。その自治体がどのような医療資源があり、そして、医師会では薬剤師会や医療関係者の方々との協議や、いろいろな連携の在り方、様々なことが表れてきます。ワクチン接種は、しかし、パンデミックも今初めて経験することですが、希望する方とはいえ、全市民を対象としたワクチン接種事業、これは初めて取り組む事業です。先ほど申し上げましたように、様々なことが全部完成しないとできない事業なんです。その最たるものが医師会の先生方の接種体制の確立です。小金井市は、私たちは12月から小金井医師会と小金井市薬剤師会とでワクチン連絡会を立ち上げて、私もその会議には全て参加しています。2週間に一遍、必ず開催しています。その中で出てきた結論、小金井には大きな大病院というの

があるわけではないんです。保健所もありません。そういう中で46の病院や診療所がワクチン接種にぜひ協力すると。きめ細かな接種、そして副反応もありますので、また先生は患者さんのことをいろいろ知っています。そういう意味では、この個別接種、病院や診療所の皆さん、46の病院の方々が手を挙げていただいた、これが本当に強味です。高齢者の方々の接種は今どうなっているかというところ、83%が個別接種です。17%が集団接種。やっぱり皆さん、かかりつけ医がいらっしゃる方が多いので、この比率が高いんです。しかも、先生のほうから声をかけていただいているというのが非常に特徴です。また、先ほども申し上げましたが、65歳以上の方々の接種率が92%です。これも接種をしている病院であっても、なくても、小金井で開業している先生たちが患者さん達に正しい情報を伝えてくださっているんだと思うんです。それがこの接種率につながっていると思います。これからも努力をしてまいります。しかし、課題は、年代が低くなるにつれて接種率が下がると言われています。私もそう思います。インターネットではいろいろなデマのような情報や、フェイクニュースや、事実ではないような情報があふれています。また、若い方々はふだんほとんど病院に行きません。ですから、先生たちとお会いする機会もないんです。なので、これからの課題は、若い世代の方々にしっかり正しい情報を見させていただいて、読んでいただいて、知っていただいて、正しく判断してもらおうと、これが最大の課題だと思っています。医師会の先生方からは、やはり7割ぐらいの方が接種しないと集団免疫が獲得できないと言われていています。なので、65歳以上の方々、本当に頑張っていたいただいているんですけども、まち全体、社会全体が希望する方々にしっかりワクチンを接種できるようにしていかなければいけないと思っています。小金井では、この先ほど資料でお配りしましたA4横の市報「こがねい」の新型コロナワクチン接種を段階的に進めていますというところの左側、予約接種開始、40歳から59歳、7月1日から予約を開始して、明日から接種がスタートします。この右側に、児童福祉施設等の従事者という欄がございます。小金井市では、独自の判断で、7月1日から、小金井市民の方で保育園、幼稚園、障害のある方々で、お子さんが障がい児の方々の様々な放課後デイサービスで働いている方、学童保育で働いている方、学校、小学校、中学校で放課後子ども教室などなど、子どもたちのために様々な活動をしていただいている方、かなり幅広い方々で、年齢に関係なく、市内であっても、市外であっても、働いている方は、この児童福祉施設等の従事者というふうに範疇を決めさせていただきました。予約は入ってきています。ただ、そういった方々が市内に何人いて、接種予約が何割かというところも、ちょっと今お示しできないんです。

けれども、市民であって、保育園や幼稚園、学童保育等で働いている方、市外で働いている方も含めて予約の受け付けをしているところがございます。多くの希望する方に接種の予約をしていただければと思います。御承知のように、保育園、幼稚園、学童保育で働いている方々は、非常に感染症のリスクの高い中で本当に頑張って働いていただいております。感謝を申し上げたいと思います。児童福祉施設で働いている方々が、引き続き安心して仕事ができるように、希望する方へのワクチン接種を進めてまいりたいと考えておりますので、よろしく申し上げます。

それから、東小金井をぜひ子育てしやすいまちにということの御意見、ごもつともだと、私もそう思います。武蔵小金井駅も、東小金井駅も、両方です。東小金井駅は非常に魅力のあるまちです。すてきな個店、おいしい飲食店、それから高架下にはコートや、マートや、ポートという、開業、起業したい方々への支援施設もございますし、大学や高校も、若い方々がたくさん駅を降りてまいります。小金井公園の玄関口でもあり、野川公園、武蔵野公園への玄関口でもあります。また、駅周辺は、高層ビルだとかが建たないような、いわゆる都市計画になっていますので、市民の方々からは空が広いまちとも言われていますし、魅力のあるまちです。現に今、小金井市内で人口が一番増えているところが一応、梶野町なんです。これは北口の土地区画整理事業や、様々な要因があると思いますが、東小金井駅のファミリー世帯の方々にとっても選ばれているのではないかと思います。現に今、第三小学校の児童数が非常に増えておまして、1日九百何十人もの給食をつくっております。あまりにも三小の児童・生徒数が増えていくことが明確になってきましたので、小学校1年生も、このまま学区域の何か調整をしないと、小学校も5クラスになってしまうのではないかと。普通教室が足りなくなってしまうのではないかという状況になりました。その中で、小金井市では初めて第三小学校の区域内に住んでいる新1年生の方々にアンケートをとりまして、希望すればより近い緑小学校や、より近い第一小学校に入学することができるように、初めてしました。今年の4月からです。今、正確な人数は出せませんが、十数名、20名弱ぐらいの方々が緑小、一小に行きたいと。この要望は従来からあったんです。小金井市は長い間、学区域はほとんど変えていないんです。途中で高架線にもなりましたし、まちの様子も変わってきました。今後、学区域は課題にはなると思っています。まず、第一歩として調整区域、希望する方は三小でもいいですし、あるいは一小でも、緑小でもいいですよと、初めて導入しました。結果としては、第三小学校は従来のクラス数と変わらなかったんです。一小も、緑小も、その結果、クラスが増えているとい

う状況ではなかったのですが、結果としては普通教室の増にはつながらなかったんですけども、今、東小金井駅、特に北口周辺を中心に人口も増えてきているという状況であります。保育園のほうも、東小金井駅周辺は大分増えてまいりました。これからも、東小金井駅は、御承知のように、おっしゃっていただいたように、子育てしやすいまち東小金井でありたいと、私も思いますので、ぜひ御協力と御理解のほどよろしくをお願いいたします。ありがとうございました。

何かあれば、どうぞ。大丈夫ですか。

○市民D

いっぱいあります。私は保育士です。やっぱり保育園が欲しいです。子どもが本当に外に出たら、お庭に出て遊べるという環境。せめて、それだけで十分ですから、子どもを見ていると、そういう環境をつくってあげたいかなと。市長さんをお願いします。

○西岡市長

ありがとうございます。保育園は、認可保育園、確かに16から39と、この6年間、相当増えました。しかし、中に園庭のない保育園もあるんですね。ですから、駅周辺の保育園を希望する方もいらっしゃいます。通勤の途中で子どもを預けたり、また、迎えに行ったりしやすいということで、駅周辺を希望する方もいっぱいいらっしゃいます。駅周辺であればあるほど、園庭がなかなか造れないという状況になりますので、今、子どもたちが遊べる環境づくりというのが課題だと思っています。もちろん、小金井公園や野川公園もありますし。でも、保育園の近くにもっと遊べる公園が欲しいという声をいただいているので、課題としてとらえています。市役所の隣の小金井消防署があります。あそこは、本当に毎日、近くの保育園児たちが消防車を見に来るんです。すごいかわいいんです。私、いつも話しかけちゃうんですけども、あの光景が大好きで、子どもたちが並んで、消防車や救急車をみんなで見ているんです。消防士さんたちも、もちろん出動するときは、子どもたちを誘導してくれますが、何もなときは消防士さんたちが一生懸命説明してくれているんです。すごく温かくていい風景だなと思って、僕も大好きなんです。昨日も、2園ぐらいの子どもたちがずっと消防車に詰めていて、僕もちょっと一緒に話をさせていただいたんですけども。増えましたね、お散歩している風景が。私がいつも思っていることは、とにかく事故が起きないように。全国で不幸な事故がありました。たくさんの子ど

もたちがベビーカーに乗って、1歳児から2歳児の子たちが歩いています。そういう子どもたちが、事故に遭わない、安心安全であるように、そしてお散歩が安心してできるまちであるようにということは心がけてまいりたいと思います。ありがとうございます。

○司会者

では、ほかにコロナのことを中心にという形で御質問のある方はいらっしゃいますか。

○西岡市長

時間も8時までなので、最後の御質問になろうかと思えます。よろしいですか。大丈夫ですか。どうぞ、最後、お願いします。

○市民E

先ほど市長さんからごみの問題のお話がありましたけれども、燃やすごみとか、燃やさないごみ、そのほか、資源ごみ、ペットボトルとか、特にアルミ缶。市報で何かの機会に1回、カラーでごみの特集を。集めたり、焼却するのにどれぐらいのお金がかかったかということが市報に載っていますけれども、その中で、例えばアルミ缶はどうしているのか。ペットボトルとか、雑紙とか、資源リサイクル、再利用ができるようなものの処理の仕方。小金井で何か、事業所でやっているわけではないんでしょうけれども、アルミ缶だったら売れるわけです。売っているのか、焼却場で一括で処理をしているのか、その辺が市報にも全然載っていませんし、それと、何年か前から有料化になりました。あのごみ袋の製作費とか売上げとかいうのは、全然市とは関係ないところでやっているのかどうか分かりませんが、もう少し資源ごみ、リサイクル、再利用あたりの処理の仕方が、いまいち、市報を見ても分からないので、この間、市議会議員の方にそのことを伺ったら、あまり分からないと。そういうことで今日、たまたまというところで。特にアルミ缶だったら、ホームレスが持っていくとか何かという問題もたくさんあって、換金できるわけです。ペットボトルのキャップなんかも、ほかの例えば府中の社会福祉協議会なんかは、集めていて、それを売って、それを社協の活動費に使っているとかいうようなところもあります。ワクチンを発展途上国あたりに寄贈するとかということもあるので、どういように処理をしているのか、聞きたいと思います。

○西岡市長

分かりました。ありがとうございます。様々な資源物を様々な方法で回収させていただいておりますし、市にもお届けいただいているたくさん品目があります。小金井市はごみの減量をしっかり成し遂げなければいけないという使命がありましたので、市民や事業者の皆様方の御協力によりまして、ごみの減量に挑んできました。3Rですね。リサイクル、リユース、こういったものについては、これからも進めてまいります。実はたくさん品目がありまして、これを全て御説明するのはなかなか難しいんですが、ごみカレンダーってありますね。私もいつも自宅に貼って、ほぼ毎日見るカレンダー、あの中にはかなり詳しく、いろいろなことが書いてございます。実際、なかなか詳しく見ないんです。カレンダーとして使っていた、あの中には分別の仕方とか、いろいろ詳しく書いてありますので、まずあのごみカレンダーをぜひ見ていただきたいということ。それから、でも、おっしゃるように、例えば回収している缶の行方とか、瓶の行方とか、粗大ごみの行方とか、落ち葉の行方とか、いろいろなものを回収していますから、気にはなると思うんです、これは一体どこでどういうふう処理されているんだろうと。それは、そういう疑問を持つのは至極当然のことだと思います。中には、もちろん市の収入になるようなものもあれば、逆に、こちらで費用を払って処理していただいているものもあれば、品目によって様々です。また、ペットボトルのキャップであったり、最近ではコンタクトレンズのケースであったり、いろいろなものを回収させていただいているんです。その一つ一つの行方というのは疑問で、知りたいということでありましたので、これはごみ対策課ですけれども、市のホームページとか、小金井市の廃棄物処理計画ですとか、いろいろなものがあるんですが、何を見ていただいたら一番いいかを、追って担当のほうから連絡をさせていただきますので、少しお時間をいただきたいと思います。廃棄物処理計画を見るのが一番いいのですが、ちょっと結構なページ数になりますけれども、御理解いただきたいと思います。一つ、参考までに申し上げさせていただければ、本当に小金井市は、市民や事業者の皆様方の多大なる御協力で、ごみの減量は非常に進んでいます。分別も一生懸命やっています。環境省が毎年、毎年発表しているんですが、小金井市は今年も、人口が10万人から50万人未満の自治体では、1人当たりの1日当たりに出すごみの排出量が全国で一番少ない自治体であります。また、リサイクル率も50%を超えています。これは、今まで小金井市も1位だったときもあるんですが、直近では鎌倉市が1位で、2位が小金井市という状況であります。これは市民の皆様方の御努力のおかげです。これからも、継続して取り組んでいけるように、しっかりとさせていただきたいと思います。

以上でございます。

※ごみ対策課より回答

市内で戸別回収している空き缶については、中町にある空き缶・古紙等処理場にて選別後、市内事業者へ売却し、最終的には自動車部品や機械部品などにリサイクルされています。市指定収集袋については、契約事業者との間で袋の作製及び管理を委託しており、また、市民等が購入した袋の手数料については、毎年度市報こがねい9月15日号ごみ減量・リサイクル特集内の廃棄物会計にてお知らせしています。ごみ対策課では、ごみ減量・リサイクルを推進するため、周知啓発を実施しておりますが、今回のご指摘を課内共有し、改めて分かりやすい広報を心掛けてまいりたいと考えております。なお、市内から出たごみ・資源物のゆくえについては、市報こがねい令和3年7月15日号ごみ減量・リサイクル特集にて各品目別に紹介しておりますのでご覧ください。

○司会者

ありがとうございます。それでは、お時間となってしまいましたので、最後に市長より一言申し上げまして、終了とさせていただきます。

○西岡市長

それでは、本日は梅雨空の中、急に暑くなっております。大変お忙しい中、お越しいただきましてありがとうございました。皆様方からの貴重な御質問、御意見、御要望は今後の市政運営の参考にさせていただきます。今日、回答できなかったことについては、追って、担当部署からお返事をさせていただきますので、よろしくお願い申し上げます。昨今、急に暑くなったりします。どうかくれぐれも熱中症には気をつけていただきたいと思います。何よりもコロナ感染症対策、ワクチンを2回打たれて、2週間たつと抗体ができるという状況であります。まだまだ国全体、また地域全体の集団免疫は獲得できていない状況です。変異株も出現している状況ですから、これまでの感染症対策をこれからも継続していただけますように、お願い申し上げます。緊張感みなぎる毎日が続いておりますが、まずはコロナ禍を皆様と力を合わせて何としても乗り越えてまいりたいと思っております。そのためにも、まずは唯一の切り札であるワクチン接種を努力してまいりたいと思っておりますので、どうぞ引き続き御理解、御支援賜りますようお願い申し上げます。

本日は貴重な御意見を賜りまして、誠にありがとうございました。

○司会者

以上をもちまして、令和3年度第1回市民と市長の座談会を終了させていただきます。

本日はどうもありがとうございました。